

## 令和3年度事業報告

### 1 事業の概要

北海道内の経済は、令和2年から新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受け飲食業や観光業を中心に厳しい状況が続いていますが、観光業には持ち直しの兆しがみられるなど緩やかに持ち直している状況にあります。

雇用情勢は、求職者が依然として高水準にあり、有効求人倍率が1.0倍（令和4年1月現在）と新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に引き続き注意が必要であるとされています。

新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言等の発令が相次ぎ、会員の感染防止に配慮し当センターの行事等を見合わせたり、請負の受注量が減少するなど、前年度同様にセンター事業に大きな影響がありました。

そのような状況から、「会員増」及び「事業の拡大・多様化」について重点的な取り組みとして、令和3年11月に就業開拓チームを設置し、就業の開拓及び拡大の施策づくりを検討し、主に高齢者を対象とした「生活支援サービス」の体制を整え、令和4年度からあらためてスタートさせることとなりました。

事業実績ですが、請負、派遣共に前年度に比べ受注額は減少、登録会員数は微減で推移しており、依然厳しい状況が続いています。

また、経費の効率的な執行に努めるなど、財政健全化へ取り組みを進めながら、登別市の協力を得て事業の適正な運営に努めました。

以下、各部会等が実施した事業について、報告いたします。

#### ◎請負・委任

区分	令和3年度	令和2年度	比較増減	対前年比
登録会員数	332人	356人	-24人	93.26%
受注件数	1,840件	1,920件	-80件	95.83%
受注金額	135,327千円	140,172千円	-4,845千円	96.54%

#### ◎シルバー派遣

区分	令和3年度	令和2年度	比較増減	対前年比
就業延人員	2,212人・日	2,650人・日	-438人・日	83.47%
受注件数	6件	8件	-2件	75.00%
契約金額	11,684千円	14,377千円	-2,693千円	81.27%

## 2 事業の実施内容

### 【総務関係】

#### 1 各種会議の運営

センターの業務執行決定機関である理事会をはじめ、各部会、委員会を適時に開催し事業の適正な運営を行いました。

・ 定時総会	令和3年6月28日(月)	場所	登別市民会館 中ホール
・ 理事会	9回	・ 総務部会	6回
・ 事業開発部会	6回	・ 安全就業委員会	6回
・ 班長会議	1回	・ 就業調整委員会	5回
・ 会報編集委員会	16回	・ 配分金等検討委員会	2回
・ 就業開拓チーム会議	4回		

#### 2 会員入会の促進

- (1) 会員と役職員で協力し合い、口コミ等による「会員ひとりが一人の加入促進」運動を引き続き実施し、会員入会の促進に努めました。
- (2) 毎月、『入会説明会』を2回計画しましたが、新型コロナウイルス感染予防のため一部中止しました。
- (3) 会員の入会促進を図るため、就業の開拓の取組みと併せて、新規会員、特に、女性会員の入会に努めました。
- (4) 高齢者活躍人材確保育成事業を活用した講習会を開催しました。
  - ・ 日 時 令和3年10月13日
  - ・ 場 所 カルチャースタジオ '05
  - ・ 内 容 自宅でできる手軽なヨガ
  - ・ 講 師 ヨガインストラクター 高橋 道恵 氏
  - ・ 参加者 5名

#### ◎月別入会者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男性	9	1	3	0	2	0	0	3	3	0	0	1
女性	3	1	0	1	0	0	0	2	0	1	2	0
合計	12	2	3	1	2	0	0	5	3	1	2	1
男性：22名 女性：10名 合計：32名												

#### 3 行政機関や各種団体等との連携

事業の円滑な運営のため、登別市や北海道シルバー人材センター連合会及び他市センターなど関係機関・団体との連携・情報収集に努めました。

#### 4 情報の提供

インターネットや会報の発行、並びにボランティア活動など様々な機会を通じて会員及び市民への情報の提供に努めました。

- (1) センターの事業計画書、収支計算書等について、一般の閲覧に供するなど情報公開に努めました。
- (2) ホームページの内容を随時更新し、より新しい情報発信に努めました。
- (3) 会報「よろこび」を年4回発行し、会員や賛助会員等に配布しました。  
(4月号、7月号、10月号、1月号)
- (4) 市の公共施設等に、シルバー人材センターのパンフレットと会報「よろこび」を置き広報活動に努めました。
- (5) シルバー人材センター事業の理解を深めてもらうために、市民との触れ合いを重きにおいた事業の開催を計画しましたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止しました。

## 5 会員組織の充実

センターの運営状況や事業活動、各種行事等をテーマに役職員、事務局そして会員との意思疎通を図りました。

- (1) 地区別懇談会を開催し、会員の意見要望を聴取して組織の活性化に努めました。

### ◎実施状況

期 日	場 所	班	参加人数
令和4年2月15日	鷺別公民館	16・17・18・19・20・21・22・23	34名
令和4年2月18日	鉄南ふれあいセンター	1・2・3・4・5・6・7・8・9 10・11・12・13・14・15	34名

- (2) 地域班独自の懇談会や交流会等の開催については、新型コロナウイルス感染予防のため中止となり、センターの助成制度の活用はありませんでした。

## 6 事務局の効率的な運営

事務局内における情報の共有化を図り、各種研修会等への参加によって、職員の事務処理能力の向上に努め、業務の円滑な運営と効率化を促進しました。

- (1) 北海道シルバー人材センター連合会の主催する各種の会議等に積極的に参加し、職員としての資質向上に努めました。
  - ・令和3年度派遣システム説明会 令和3年 7月14日
  - ・令和3年度安全適正就業推進委員会 令和3年 8月26日
  - ・令和3年度業務担当者研修会 令和3年10月21日
  - ・令和3年度全シ協主催適正就業担当者会議 令和3年10月25日
  - ・職業紹介者責任者講習 令和3年10月25日
  - ・令和3年度安全就業推進員研修会 令和3年11月11日
  - ・令和3年度全シ協主催会計・経理担当者会議 令和3年12月17日
  - ・令和3年度派遣実務担当者研修会 令和4年 1月18日
  - ・令和3年度全道事務局長会議 令和4年 2月 9日
  - ・令和3年度全シ協主催安全指導員会議 令和4年 2月10日

7 地域社会に親しまれるシルバー人材センターを目指し、市民の理解・関心の向上のため、会員と役職員が協力し合い、ボランティア活動を実施しました。

(1) アイラブロード美化事業への参加

日 時 令和3年7月13日(火)

場 所 市道カルルス路線(労働福祉センター～陸上競技場)

内 容 花苗の植込み等

参加人員 27名

8 財政基盤の強化

財政基盤の確立を図るため、全国シルバー人材センター事業協会の要請活動と併せ登別市に当センターの独自要請を行いました。

登別市への要請 令和3年10月12日(火)

- ・公共事業の発注の確保
- ・国庫補助金を増額要望するために市補助金の増額

9 基本計画の推進

令和2年度を初年とした計画の推進を図るため、検証を行いました。

10 理事会の活性化

(1) 理事の他市シルバー人材センターとの研修会は、新型コロナウイルス感染予防のため実施には至りませんでした。資質向上を図るため独自の研修会を実施しました。

実施日 令和4年3月11日(金)

(2) 理事会と事務局との情報の共有化に努めました。

11 福利厚生事業の実施

要綱に定める慶弔事業はありませんでした。

## 【事業開発関係】

1 仕事量の確保

事業の普及啓発と就業の確保・開拓に向けて就業開拓の促進に努めました。

(1) 「会員一人が一就業開拓」を合言葉に、会員各自が口コミ活動により会員の就業機会の拡大に努めました。市内企業、団体や賛助会員などへの訪問活動は、新型コロナウイルス感染予防のため自粛しました。

(2) 労働者派遣事業の一層の推進を図るため、北海道シルバー人材センター連合会と連携協力のもと、会員の就業機会の拡大に努めました。

(3) シルバー事業の活用と新規会員の加入促進を目的として、10月シルバーの日に大型店舗前でパンフレット等を配布する啓発活動を行いました。

日 時 令和3年10月5日 (火) 10:00～11:00

参加者 27名

・イオン登別	518部	・アーニス	300部
・コープさっぽろ登別桜木店	265部	・コープさっぽろ登別東町店	100部
・コープさっぽろイースト店	310部	・トライアル登別栄町店	200部
		<u>配布部数</u>	<u>合計 1,693部</u>

- (4) 広報紙にパンフレットを折込み、全戸配布し、会員の増加及び受注の拡大を図りました。(8月号 19,500枚)
- (5) 就業開拓チームの設置及び就業開拓専門員を配置し、合同による会議を開催し、就業開拓の推進に努めました。

## 2 就業機会の適正化

- (1) 会員の就業機会の公平化を図るため、可能な限り就業のローテーション化を図り、就業人員の拡大に努めました。
- (2) 公共施設就業現場の実態把握、及び就業上における改善点の有無等の確認のためパトロールを実施しました。

実施日 令和3年11月16日 (火)

実施施設 9ヶ所

- (3) 就業経験のない仕事へのチャレンジを呼びかけるなどミスマッチの防止解消に努めました。

## 3 会員の能力向上

- (1) 発注者から信頼される就業に向け、会員の技能・技術等の向上を図るため技能講習会を計画しましたが下記理由により中止しました。

・第1回草刈り講習会	雨天中止
・第2回草刈り講習会	新型コロナウイルス感染予防のため中止
・第1回剪定講習会	新型コロナウイルス感染予防のため中止
・第2回剪定講習会	雨天中止
・第3回剪定講習会	雨天中止

- (2) 剪定新規就業会員の初期投資負担軽減策として、脚立を期間限定で支援しました。

貸出 1件

- (3) 新入会員がスムーズに就業できるように、接遇研修・就業相談を実施しました。

・1回目	令和3年11月9日 (火)	参加者	4名
・2回目	令和4年3月15日 (火)	参加者	4名

- (4) 外部講師による全会員を対象とした、接遇研修を実施しました。

実施日 令和3年10月25日 (月)

場 所 登別市民会館 大会議室

講 師 伊藤 美奈 氏

参加者 19名

#### 4 自主事業の調査・研究

- (1) 新規事業に関し会員からの意見提案はありませんでした。
- (2) 生活支援事業の拡大を図るため、登別市や福祉関係団体などの協力を経て「生活支援サービス」として再構築しました。
- (3) 生活支援サービスの推進のため、総務部会と連携しながら女性会員の増強と就業への体制を整えました。

### 【安全就業関係】

『令和3年度 事故防止重点実施項目』のスローガンを設定し、事故防止及び安全就業に努めました。

スローガン

《安全第一 事故ゼロを目指そう》

#### 1 安全就業の徹底と事故防止

「安全は第一であり、すべてに優先する。」を合い言葉に、無事故を目指しましたが、飛び石等による物損事故2件、機材の接触による物損事故1件が発生しました。

- (1) 事業執行計画（安全就業実施計画）を作成し、年間を通して安全就業の推進を図りました。
- (2) 安全就業委員会において、安全就業委員及び安全対策推進員による就業シーズンの最盛期である7月から10月の繁忙期に重点実施期間を設け、安全パトロールを実施しました。  
実施日 令和3年 7月20日（火）、令和3年 8月19日（木）  
令和3年 9月16日（木）、令和3年10月14日（木）  
場 所 市内12ヶ所  
人 員 12名
- (3) ヒヤリ・ハット体験事例の報告を求め、安全意識の高揚に務めましたが、体験事例の報告はありませんでした。
- (4) 新規受注にあたっては、事前に発注者宅を訪問・下見を実施し、仕事の内容や就業形態等を確認してから会員に提供し会員の安全かつ適正就業の確保に務めました。
- (5) 事故を起こした会員には、事故報告書を提出してもらい再発防止に努めました。
- (6) 草刈（機械）作業時の飛び石による人身・物損事故防止を図るため、草刈作業事故防止対策を強化することとしました。

#### 2 安全就業普及活動の実施

- (1) 会員の安全就業啓発のため、定時総会時に併せて「安全宣言大会」を実施し、事故防止の意識高揚に努めました。  
実施日 令和3年6月28日（月）
- (2) 全国安全週間及び安全就業強化期間にあわせ「安全宣言式」を計画しましたが、新型コロナウイルス感染予防や場所の制約などにより中止しました。
- (3) 「安全だより」の発行を行い、安全就業に関する意識の高揚を図りました。

(4月号、7月号、10月号、1月号)

- (4) 作業中の安全意識をたかめるため、新入会員にシルバー人材センター安全のしおりを、新規就業会員には安全ワッペンを配布しました。
- (5) 会員に対し、「安全標語」の募集・表彰を行い全会員の安全意識の高揚を図りました。
- (6) 各種講習会における安全一口講話を計画しましたが、新型コロナウイルス感染防止などのため中止しました。

### 3 会員の健康管理

- (1) 会員の健康管理の徹底を図るため、健康診断の受診を奨励しました。  
健康診断受診者：207名 未受診者：24名
- (2) 登別市担当グループの協力を得て、会員の健康維持のため「健康講話」を計画しましたが新型コロナウイルス感染予防のため中止しました。
- (3) 登別市消防署の協力を得て、「救命講習会」を計画しましたが新型コロナウイルス感染予防のため中止しました。

### 4 交通安全

交通事故防止のため、室蘭警察署の協力を得て「交通安全講話」を開催しました。また登別市と連携して地域の交通安全啓発活動に参加しました。

#### (1) 交通安全講話

実施日 令和3年11月25日(木)

場所 鉄南ふれあいセンター 3階ホール

講師 室蘭警察署交通第1課企画規制第1係長 後藤 博幸 氏

講話内容 高齢者の交通安全

参加者 22名

#### (2) 交通安全啓発活動(人と旗の波街頭啓発活動)

- ・令和3年 5月12日(水) イオン登別店前 参加者 13名
- ・令和3年 7月14日(水) 鷲別小学校前 参加者 12名

### 5 情報収集と自己研鑽

登別環づくり市民委員会(クリンクルセンター)が行っている安全衛生推進会議に参加し安全衛生活動報告を行うとともに、他企業等との意見交換会に参加しました。

## 【有料職業紹介事業】

有料職業紹介事業を実施しましたが、職業紹介には至りませんでした。

### 3 事故発生状況

#### 物損事故発生状況

件数	発生日時	性別	事故の状況
1	令和3年 6月8日(火) 15:00頃	男	登別市片倉町の除草作業(機械)終了後、器材をトラックに積載するため刈り払い機を脇に抱え移動中に、駐車場に駐車中の乗用車の後部バンパーに刈り払い機の刈刃が接触し、車体の一部を損傷させた。
2	令和3年 6月12日(土) 10:00頃	男	登別市若草町の個人宅の「草取作業」を依頼され、一部刈り払い機(ナイロンコード)を使用して草刈り作業を行い隣接する被害者宅の浴室ガラスを飛び石により損傷させた。(防護ネット使用)
3	令和3年 8月4日(水) 10:00頃	男	登別市美園町の個人宅の「草取作業」を依頼され、一部刈り払い機(ナイロンコード)を使用して草刈り作業を行い、飛び石により窓ガラスを損傷させた。 (防護ネット使用)